

成年年齢の引下げに伴う「盛岡市成人のつどい」の開催方針（案）について

令和2年8月24日
教育委員会

1 趣旨

成年年齢を20歳から18歳に引き下げる改正民法が、令和4年4月1日に施行されることから、令和4年度以降の「盛岡市成人のつどい」の開催方針（案）について、説明するものである。

2 「盛岡市成人のつどい」の現状

本市では、人生の節目である20歳の式典を催すことにより、成年年齢に達した者の新たな門出を祝福するとともに、社会の一員になったことを改めて認識させ、明日の盛岡市を支える市民としての自覚を喚起し、社会への参加意識を高めることを趣旨として、次のとおり開催している。

名 称	盛岡市成人のつどい
主 催 者	盛岡市、盛岡市教育委員会、盛岡市成人のつどい実行委員会
開 催 日	成人の日の前日の日曜日（3連休の中日）
参加対象者	当該年度に20歳になる者
参加者数	2,096名（令和2年1月の参加者数）

3 高校生及び保護者へのアンケート調査の結果

令和4年度以降の「盛岡市成人のつどい」の開催方針（案）の検討に当たり、参加対象者の意見及び考えを聴くため、次のとおりアンケート調査を実施した。

- (1) 調査対象者 市内及び近郊の高等学校に通う盛岡市内在住の1年生及び2年生並びに同保護者
- (2) 調査数 1,000人（生徒500人（1年生250人、2年生250人）、保護者500人）
- (3) 調査期間 令和2年5月11日（月）から5月18日（月）まで
- (4) 調査結果 回答数 966人（回答率96.6%）

【問1】成人のつどいの参加対象年齢は何歳にすべきか。

選択肢	高（高校生）	保（保護者）	合計
1 20歳	443人（91.7%）	461人（95.4%）	904人（93.6%）
2 19歳	11人（2.3%）	4人（0.8%）	15人（1.6%）
3 18歳	20人（4.1%）	12人（2.5%）	32人（3.3%）
4 無回答	9人（1.9%）	6人（1.2%）	15人（1.6%）
合計	483人（100.0%）	483人（100.0%）	966人（100.0%）

【問2】問1で選んだ理由を教えてください。(記述式)

選択肢	理由	回答率 (%)		
		高	保	合計
20歳	受験・就職活動の時期と重なるから	23.5	18.0	20.7
	20歳が節目として適切だから	12.9	15.6	14.3
	例年どおりで良いと思うから	14.4	12.1	13.3
19歳	19歳であれば受験が終わり、余裕ができるから	9.1	50.0	20.0
	成人年齢が18歳であれば、20歳で行う意義はないが、18歳だと受験時期と重なるから	9.1	25.0	13.3
	大学などひと段落ついて、みんなに会いたくなる頃だから	9.1	—	6.7
18歳	18歳は成人と見なして十分だと思うから	15.0	25.0	18.8
	高校卒業後は進路が様々で遠方に行く人もいるから	5.0	8.3	6.3
	就職・進学後に地元に戻って来なくてはならないから	—	16.7	6.3

* 回答数の多い上位3つを掲載した。

4 令和4年度以降の開催方針(案)

- (1) 名称 (仮称) 盛岡市二十歳(はたち)のつどい
- (2) 主催者 盛岡市, 盛岡市教育委員会, 参加対象者等で構成される実行委員会
- (3) 開催日 成人の日の前日の日曜日(3連休の中日)
- (4) 参加対象者 当該年度に20歳になる者
- (5) 20歳を対象とする主な理由

ア 成年年齢の引下げ後に成人となる18歳の多くは高校3年生で、進学や就職活動など、人生において最も重要な時期に当たり、新成人の参加が難しくなることが見込まれる。

イ 20歳は、飲酒など全ての年齢制限がなくなることから、改めて責任ある大人としての自覚や社会参加を促す機会として、また、これまでと同様に人生の節目としての開催の意義がある。

ウ 「盛岡市成人のつどいに関するアンケート調査」で、成年年齢の引下げ後の「盛岡市成人のつどい」は、20歳を対象に開催すべきとする意見が、高校生、保護者とも90%を超えている。

5 社会教育委員会議での意見聴取

令和2年6月4日(木)開催の社会教育委員会議において、令和4年度以降の開催方針(案)について説明し、提案のとおり了承された。

6 成年年齢に達する18歳を対象とする事業の実施

成年に達したことの自覚を促すため、教育的な行事や取組などを検討することとする。

(例)

・「市長からの祝福メッセージ」と「成人としての権利と義務など」を記載した記念の印刷物を贈る。

7 今後のスケジュール

時期	内容
令和2年8月25日以降	市長決裁
令和5年1月	(仮称) 盛岡市二十歳(はたち)のつどい

- 国からの情報提供（成年年齢引下げを見据えた環境整備に関する関係府省庁連絡会議の成人式の時期や在り方等に関する分科会「成人式の時期や在り方等に関する報告書（令和2年3月）」から）

1 情報発信の必要性

成人式については、その実施の具体的な方法が法律で定められているわけではなく、その対象年齢を何歳とするか等、成人式の在り方については、地方公共団体の判断で決められるものであることから、国が、一律に統一的な指針を示すことは必ずしも適切ではない。

しかしながら、各地方公共団体が成年年齢の引下げ後の成人式の在り方を検討するに当たって、独自に参考となる情報を収集することになると、地方公共団体によっては、大きな負担となる恐れがある。

このことから、国として、関係者との意見交換などを通じて関係者の意見や各地方公共団体の検討状況を取りまとめ、各地方公共団体がその実情に応じた対応をすることができるよう、取りまとめた情報を発信することとしたものである。

2 各種調査における主な結果について

(1) 全市区町村を対象とした成人式の実施に関するアンケート調査の結果

（回答期限：令和元年6月4日から14日まで）

- ア 回答数：1,741市区町村のうち、1,037市区町村が回答（回答率：59.6%）
- イ 成年年齢引下げ後の成人式について方針を決定している：67市区町村（6.5%）
- ウ 成年年齢引下げ後の成人式の対象年齢を20歳とする：61市区町村（91.0%）

(2) 成年年齢引下げに関する世論調査の結果

（調査期間：平成30年11月29日から12月24日まで）

- ア 有効回収数：16歳から22歳まで 1,802人、40歳から59歳まで 958人
- イ 成年年齢引下げの成人式の対象年齢を20歳とする：
16歳から22歳まで 1,295人（71.9%）、40歳から59歳まで 527人（55.0%）

(3) （一社）全国高等学校PTA連合会によるアンケートの結果

（調査期間：平成30年12月から平成31年1月まで）

- ア 回答数：3,963PTAのうち、2,183PTA（回答率：55.1%）
 - イ 成年年齢引下げ後の成人式の対象年齢を20歳とする：53.7%
 - ウ 成人式の意義について
 - (ア) 大人になった自覚を促す：72.4%
 - (イ) 人生の節目として、将来について考える機会となる：72.2%
 - (ウ) 地元の友人と再会したり地域の人と触れ合ったりすることで、地元への愛着を育む：53.8%
 - (エ) 地域をあげて未来を担う新成人を祝い励ます：39.8%
- 以下省略

(4) （公財）日本財団による意識調査

（調査期間：平成30年12月3日から6日まで）

- ア 対象者：全国の17歳から19歳の男女800人
- イ 20歳で成人式を行うのがふさわしい：74.0%
- ウ 成人式に出席したい：70.6%

3 成人式の時期や在り方等に関する分科会でのヒアリング及び意見交換の要約

- (1) 18歳の方を対象として、成年に達したことの自覚を促すための教育的な行事や取組を行うことが望ましい。
- (2) 成年年齢引下げ後の成人式の対象年齢については、18歳にすべきとの意見と20歳にすべきとの意見の双方が出されたが、これまでと同様に20歳の方を対象として実施するという意見が多数であった。

【分科会でヒアリングを行った対象者】

- ・日本きもの連盟
- ・協同組合日本写真館協会
- ・中央区新成人のつどい実行委員会OBOG会
- ・京都市子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部
- ・全日本美容業生活衛生同業組合連合会

■ 成年年齢引き下げに伴う成人式の在り方に関する調査について（石川県金沢市にて実施）
（調査期間：令和2年6月4日から6月15日まで）

1 調査対象：中核市（60市）

2 令和4年度以降の成人式の対象年齢の決定状況

回 答	回 答 数	割 合
20歳になる年度	35市	58.3%
20歳になる年度以外	0	0.0%
検討中	25市	41.7%